

KPU シンポジウム報告書

9月16日(金)、京都薬科大学愛学ホールにおいて第1回 KPU シンポジウムを開催いたしました。特別講演として乾賢一学長と京都大学理学研究科の藤吉好則教授に、また一般講演として藤室雅弘教授、赤路健一教授、辻本雅之講師に、さらに学生講演として本学大学院博士後期課程2年次生の安田仁氏および林直樹氏に発表いただきました。参加者は、学部1年次生から6年次生、大学院博士前期課程1年次生および2年次生、博士後期課程1年次生から3年次生、博士研究員から教員までの337名と、非常に大勢の方にご参加いただきました。それぞれの発表に対して、大学院生を含めた聴衆から多くの質問がなされ活発な議論が行われました。また講演者と聴衆(特に学生)との距離を縮める目的で、シンポジウム終了後に交流会(茶話会)を設けましたところ、多くの学部学生が藤吉先生、乾学長と講演内容に関して長時間にわたり議論しておりました。今回の KPU シンポジウムに参加することで学生が研究に関する刺激を受けてくれたのではないかと期待しています。今後、定期的に KPU シンポジウムを企画・開催することにより、学部学生・大学院学生が研究に触れて感じる機会を多くしていきたいと考えております。

KPU シンポジウム実行委員会一同

1. シンポジウム概要

日時：2011年9月16日(金)13:30~17:20, 場所：京都薬科大学・愛学館 A31 講義室

【プログラム】

- 開会の挨拶 小暮健太郎
- 特別講演 (1) 13:30 – 14:00 座長：小暮健太郎
薬物トランスポーターに魅せられて –from Bench to Bedside–
乾 賢一 学長 (京都薬科大学)
- 特別講演 (2) 14:00 – 14:50 座長：竹内孝治
構造に指南された創薬を目指す構造生理学の現状と展望 –遠くを見ると研究は楽しい–
藤吉好則 教授 (京都大学・生物物理学教室)
- 一般講演 (1) 15:15 – 15:40 座長：長澤一樹
がんウイルスの生存戦略と人間のウイルス制圧戦略
–カポジ肉腫関連ヘルペスウイルスと抗腫瘍療法–
藤室雅弘 教授 (京都薬科大学・細胞生物学分野)
- 一般講演 (2) 15:40 – 16:05 座長：安井裕之
構造解析に基づくプロテアーゼ阻害剤の開発
赤路健一 教授 (京都薬科大学・薬品化学分野)
- 学生講演 (1) 16:15 – 16:35 座長：林 直樹
5-フルオロウラシルにより誘起される腸炎における
NADPH oxidase 1 (Nox1) の関与
安田 仁 (D2) (京都薬科大学・薬物治療学分野)
- 学生講演 (2) 16:35 – 16:55 座長：安田 仁
緑膿菌の上皮透過機構の解明 –上皮細胞への到達と透過について–
林 直樹 (D2) (京都薬科大学・微生物・感染制御学分野)
- 一般講演 (3) 16:55 – 17:20 座長：奈邊 健
末期腎不全患者の謎–肝消失型薬剤の体内動態も変動する–
辻本雅之 講師 (京都薬科大学・臨床薬学分野)
- 閉会の挨拶 石原慶一

2. 参加人数：337名

(参加者：1-6年生, M1, M2, D1-3, PD, 教職員)



非常に多くの方に参加して頂きました！！

【講演会】





大学院生も発表！！活発な議論！！



18時半頃まで交流会が続きました。